

週刊 タバコの正体

【全面広告】 2021年9月3日(金) 13版S 6

事実：

紙巻たばこは「燃える」ことで、
6,000種類以上もの
化学物質を発生させる。

…だったら、
燃やさなければ？

たばこから“燃焼”と“煙”をなくすことで、
喫煙関連疾患の原因とされる有害性成分の発生を低減できます。

<p>紙巻たばこは 燃える</p> <p>煙が発生</p> <p>発生する化学物質の内 約100種類が有害性成分* *公衆衛生当局による特定</p> <p>約800℃で燃焼する</p>	<p>たばこペーパー(蒸気) が発生</p> <p>発生する有害性成分 が低減* *製品により低減の量は異なります</p> <p>燃焼せず加熱する</p>	<p>加熱式たばこは 熱する</p>
---	---	-------------------------------

たばこの「事実」をもっと知りたい方は <https://www.smokefreenippon.jp/>

喫煙を継続する意思のある成人喫煙者に対しては「より良い選択肢」を提供する、これが当社の方針です。
ただし、加熱式たばこ等の煙の出ない製品にもリスクがないわけではなく、
吸っていない人は吸い始めない、喫煙している人は禁煙する、それが最善の選択です。

PHILIP MORRIS JAPAN

最近、あるタバコ会社が新聞にこんな全面広告をだしていました。

何を広告しているのか、一目ではわかりにくいのですが、火をつけて煙が出る紙巻たばこと、燃やさずに煙のない加熱式たばこを比較した内容です。

燃やすと6000種類以上の化学物質が発生し有害成分が多くなる。「だったら、燃やさなければ、いいんじゃないの…そんなタバコがありますよ。それが有害成分の少ない加熱式たばこです。」と広告しているように見えますね。

「有害性が少ない加熱式たばこは、いかがですか。」とでも書いているのかと思きや、紙面の最下段には以下のような文章が掲載されています。

タバコ会社も「吸い始めない」それが最善の選択だと言っています。

喫煙を継続する意思のある成人喫煙者に対しては「より良い選択肢」を提供する、これが当社の方針です。
ただし、加熱式たばこ等の煙の出ない製品にもリスクがないわけではなく、
吸っていない人は吸い始めない、喫煙している人は禁煙する、それが最善の選択です。